

新年のご挨拶

東京都立東部療育センター
院長 椎原 弘章

明けましておめでとうございます。新しい年は、何回迎えても心が改まり新しく再生した気持ちになります。今年一年が職員の皆様、当センターをご利用の皆様にとって良い年になりますようお祈り申し上げます。

昨年も当センターの運営はおおむね順調に推移し、無事に新しい年を迎えることができました。皆様のご尽力、ご協力に心より感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いてきたこともあり、感染防止、通所・短期入所の受け入れ、日中活動・戸外活動・面会などについては種々の制限を徐々に緩和して、少しずつコロナ禍前の状況に戻ってきております。院内感染防止が最大の前提となりますが、今後さらに施設利用の拡大、入所されている方々の生活の拡大・向上を図ってまいります。

当センターは開設時から東京都の指定管理者として社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会が運営を行ってまいりましたが、今年度は2020年からの10年の指定管理契約の折り返し点となり事業の中間見直しが行われます。また、開設当初から設定してきた中・長期計画は順次進行中ですが、現在の計画は2025年3月で終了するため2025年から2030年までの中期

計画を作成中です。基本的な運営理念や運営方針は従来の内容を継続していくこととなりますが、近年全国的に注目されている重症心身障害者の高齢化や重症化、在宅の重症心身障害児者や医療的ケア児の増加のほかにも、年齢や発達レベルに応じた日中活動の在り方、意思決定支援やアドバンス・ケア・プランニング、重症化に伴う通所施設の狭小化への対策、外来で増加する神経発達症への対応、職員の人材確保とキャリアアップ、施設のデジタル・トランスフォーメーション、異常気象に対応できる防災対策、家族やきょうだいへの支援の在り方など多くの課題があり、これらに適切に対応すべく運営計画を立ててまいります。

さて突然に話は変わりますが、社会で活動する一人の人間として、あるいは会社や医療・福祉施設などのあらゆる組織で、根本にあるべき最も重要な要件として何を思い浮かべますか。私は、自分や所属する組織と関係するすべての方々から信用、信頼されることだと考えます。「信」は人(偏)が言明(旁)したことを違えたり屈することなくまっすぐ伸び進むという意味の漢字です。信用、信頼は誠実や真摯という言葉ともつながります。当センターのように入所者・利用者・患者様のお世話をする施設として一番大切なことはご本人、ご家族から安心して信頼していただくことではないでしょうか。重い病気や障害を持った方々は自身でできることが限られており、医療をはじめとして生活の多くの部分を他の人に

委ねなければなりません。私たちの施設を信じ頼って下さっているのですから、私たち職員はその期待にしっかりと応え、より良い生活を支えていく責任があります。入所者・利用者・患者様やご家族と職員との間に強い信頼関係がなければ、われわれの施設は全く成り立ちません。これからの施設を利用される方々やそのご家族の信用、信頼を得られるよう努力を続けていこうではありませんか。

新年のご挨拶
令和7年1月6日
(当センターにて)



クリスマス会 令和6年度の クリスマス会の様子 をお届けします。



2階西病棟

2階西病棟では「利用者職員が楽しい時間を共有する」をテーマに行いました。リハビリとのコラボ企画のダンスと演奏からスタート、利用者様の出し物「笑点」では参加する利用者様だけでなく、みんなで活動中にネタの準備をしたこともあり、当日は観客からも積極的な参加もありました。職員の出し物ではみんな大好きなグールズ五十「嵐」が登場。新人職員がセンターでダンスを盛り上げ、最後はNizuru3が完成度の高いダンスや懐かしいダンスを披露し、会場全体で楽しむ事が出来ました。師長サンタと写真撮影ではパンフレットのフレームに取めて、クリスマスカードと一緒に一足早いクリスマスプレゼント。みんなで楽しい時間を過ごす事が出来ました。



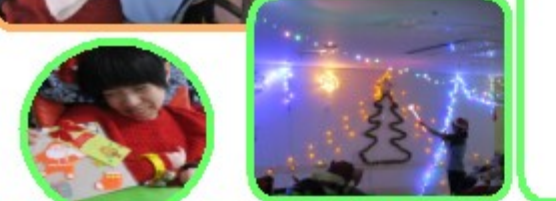
2階南病棟

2階南病棟のクリスマス会は、利用者様23名全員が出し物に出演しました。演目はハンドベルの演奏とダンスショーです。それぞれの出し物でも2チームずつに分かれました。ハンドベルは「きよしこの夜」のチームと「あわてんぼうのサンタクロース」のチーム、ダンスは「ジンガルベル」のチームと「赤鼻のトナカイ」のチームです。11月下旬から参加することが出来るメンバーで練習を重ねて、当日はたくさんの方の前で堂々と披露することが出来、たくさんの方の拍手をもらうことが出来ました。



3階西病棟

今年のクリスマス会は、コロナ禍以来数年ぶりにご家族参加での開催となりました。クリスマス会に向けて、クリスマス会をテーマにダンスとトーンチャイムなどの楽器演奏のチームに分かれ、活動で練習を重ねてきました。当日は、みんなが丸となって素晴らしいダンスと演奏を披露してくださいました。点灯式の後はサンタさんの登場で本日の一番の盛り上がりとなりました。プレゼント交換を行い、最後にアンコールでジンガルベルロックの曲に合わせて全員でダンス・サンタさんとトナカイさんと一緒に写真を撮って今年のクリスマス会は幕を閉じました。



3階南病棟

今回、3階南病棟のクリスマス会はちごゆり銀座商店街クリスマスコンサートと題し病棟全体を肉屋、ケーキ屋、銭湯など商店街のように飾りつけました。昔懐かしい雰囲気の中で点灯式、コンサートを行いました。点灯式ではみんな魔法の呪文を唱えてきれいなイルミネーションを点灯させました。クリスマスコンサートは最後にみんなが輪になって楽しく歌うことができました。みんなで選んだ曲なので笑顔も多く見る事ができました。保護者の方も多く参加して頂きたい時間になりました。

3階南病棟 ちごゆり 水族館



3階南病棟では、雨天中止となった花火の代替イベントとして「ちごゆり水族館」を開催しました。大画面での大水槽や海の生き物を模した触れ合いコーナー、暗闇で光る深海魚コーナー、目や耳、手で水族館を楽しみました。数時間限定の空間をご家族と一緒に楽しみました。



こちらが大画面の
大水槽です
迫力がありますね



こちらが
クラゲ深海魚館です
とても綺麗ですね

通所

通所クリスマス会は点灯式からはじまり、代表者にスイッチを押していただいて色鮮やかなイルミネーションをライトアップしました。アトラクションボランテアによる津軽三味線とギターの演奏会やウクレレとフルートの演奏会、リハビリグループの利用者様によるダンスと楽器の演奏会、職員の出し物と一緒に利用者の皆さんとダンスや楽器の演奏会と毎回違う催しを行った4日間でした。



師長サンタからプレゼント



アトラクションボランテア



権原院長サンタとかわいいサンタさんたち



乳幼児通所

当初の予定を変更して、お友達がたくさん集まれる26日(木)に乳幼児通所はクリスマス会を行いました。色々な事情で参加者は2名となってしまいましたが、点灯式・楽器演奏・サンタになれるかサキキッスを楽しく行いました。権原院長サンタから素敵なプレゼントをもらい、皆さんとても嬉しそうにしていました。

ボランテア紹介

2024年10月30日にアトラクションボランテアに参加させていただきました。『ザ・マジック』です。初めて5か所(通所・病棟)で演技をさせていただきました。この演技内容で楽しんでもらえるか不安がありましたが、いざ始めてみるとそんな不安はすぐになくなりました。見てくれている全員の方が、アトラクションを盛り上げる雰囲気を感じることができたからです。マジックを楽しんでもらっていることが皆さんの表情でうかがえたことは、私たちにとても何よりの喜びです。ご家族の方々にも参加していただきありがとうございました。私たちも楽しく演技することができました。

「ザ・マジック」はマジックを中心に大道芸(南京玉すだれ・のこ)



「ザ・マジック」松原

東部あれこれ

10月から12月のセンターの動きです。花火を楽しんだ10月から一変、11月7日に気象庁から「東京地方で木枯らし1号が吹いた」と発表されました。昨年より一週間早く、あまり秋の気配が感じられず季節が移りました。12月になると寒さが一気に強まり、また月半ばからは全国的にインフルエンザや新型コロナウイルスの感染者が増えました。センターでは引き続き感染予防に努めています。

【十月】

10月から12月にかけて看護実習、小児療育実習、歯科衛生士実習や中学生の職場体験等、たくさんの実習生を受け入れました。行事では9月に引き続き、毎週金曜日に「花火を楽しむ夕べ」を行いました。また、病棟・通所遠足ではバスに乗って行船公園やアリオ北砂へ行き、楽しみました。

学会報告

第49回全日本重症心身障害学会学術集会が、海と山が近接する国際都市・神戸で二日間に行われ開催されました。専門家としてセンターや地域のみなさんに対しての看護をお届けするべきか、私たちがの考えをポスター形式で発表させていただきました。また、重症心身障害の方々が歩んだ歴史について諸先輩の方々の講演を聴き、若い世代がバトンを引き継ぐ時期にあることを実感しました。さらに障害がある方もそうでない方も、自分の人生の終え方について、ご家族や関係者の方々とあらかじめ話し合い、共有することの大切さを学ぶことができました。神戸三宮(こうべさんのみや)では「ほっかけ焼きそば」という家庭料理を味わうこともでき有意義な時間を過ごすことができました。(2階南病棟 看護主任 青木)



ポスター形式での発表
学会参加の療育部職員
(兵庫県 神戸市)

【十一月】

26日に運営協議会が開催されました。近隣の医療機関や関係機関の委員の皆様にお集まりいただき、当センターの施設の現状と今後の取組み等についてご報告し、ご意見をいただきました。

【十二月】

1日は当センターの開設記念日でした。栄養科からの「お祝い膳」で19周年目をお祝いしました。

12・13日には病棟、17日は乳幼児通所、23・27日は通所でクリスマス会を開催しました。今年のご家族も参加され、利用者様も喜んでいらっしゃる様子が見えました。

14日には入所保護者懇談会、19日には通所保護者懇談会が行われ、出席された皆様から様々なご意見をいただきました。

(事務長 大野)

写真につきましては、全て掲載の許可をいただいております。

チーム紹介(摂食嚥下障害対策部会)

当センターでは多職種がチームを組んで行っている取り組みがあります。今回は「摂食嚥下障害対策部会」をご紹介します。



多職種で行っている
摂食ラウンドの様子

摂食嚥下障害対策部会は、栄養管理委員会の下部組織として利用者様が安全に楽しくお食事が出来るよう開設時から活動を続けています。部会員は「歯科医師、医師、摂食・嚥下障害看護認定看護師、診療放射線技師、管理栄養士、作業療法士、言語聴覚士」で構成されています。

(年四回)は、職員の食事介助の知識を深め、技術向上をめざし、実践に役立つ内容となるよう工夫を凝らしています。

当センターの利用者様はここ数年で三食食べることに出来る方が減少してきています。反面栄養摂取という観点から活動の中心として、少量のお食事やおやつを食べる方が増加しています。そのような中、職員間では「食べる」ということの意味や多様性を再度考え、議論を重ねる機会も多かったと思います。利用者様の生活がより充実したものと活動が続いていきたいと思います。

行事食紹介

クリスマス会

12月は様々なイベントが行われ、栄養科ではイベントに合わせてメニューを提供しています。

開設記念日



お祝い膳

- サケ・マグロ丼
- 煮しめ
- すまし汁
- 水ようかん

クリスマスイブメニュー

クリスマスおやつ



ブッシュドノエル

クリスマス会メニュー

- ご飯
- ダブルチーズハンバーグ
- 五ねぎソテー
- ポテトサラダ
- プリン
- ミルクロール
- いちごジャム
- ライスコロッケ
- ブロッコリー
- いちごミルク

編集後記

明けましておめでとうございます。久々にわか草を担当することになり、初心を胸に東部で初日の出を迎えること。日の出時間に到着すると同じ方向を見て待っていらっしゃる利用者様がいました。勝手にですが、同じ時間を共有できた仲間がいた感じがして、嬉しかったです。本年もよろしくお願いたします。(広報委員会 事務局)

←これまでのわか草を
ご覧になりたい方は
こちらからどうぞ

